

## 7月にSGH特別講座を実施しました。

### SGH特別講座 ～日本の国際貢献・国際理解を考える～

平成29年7月6日（木） 時習館高校 視聴覚教室 16:40～18:00

#### 《目的》

授業後の時間を利用し、講師による講話を聞き、ディスカッションを行うことで、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの5分野の中で、特に「**経済発展と環境**」、「**日本の貢献・国際理解**」の2分野について理解の深化をめざす。

#### 《講師》 丹羽俊策 氏

\* 青年海外協力隊として、インドネシアの南スラウェシ州マロス県の組合・産業・商業局にて、中小企業・協同組合の活動支援に従事。中小企業製品を現地スーパーマーケットへの販路開拓に携わったほか、他の隊員と協力して、パッケージデザインコンペティションを州内で実施するなど、中小企業・協同組合活動の活性化に伴う地域開発に従事。現在は認定NPO法人アジア車いす交流センター事務局にて勤務している。



#### 《演題》「インドネシアにおけるコミュニティ開発」

始めはインドネシアの概要（国土・宗教・文化・経済など）や青年海外協力隊についての基本的な知識、講師自身が国際協力に興味を持ち、青年海外協力隊に参加するに至った経緯などをお話していただきました。その後は、実際にインドネシアで行った活動内容を紹介していただき、その経験談を踏まえて「国際協力活動をする上で大切にすべきことは何か」という問いについてグループで議論し、意見交換を行い、発表しました。

#### [参加生徒の感想]

途上国の支援活動は、途上国の生活を「支えてあげる」ためのものではなく、お互いを高めるための活動であることを強く感じた。

講話を聞いて、自ら動き、知らない世界を見てみたいという気持ちが高まった。今できることから進んで行動したい。

海外の活動についてあまりお話を聞いたことがなかったので、新しいことをたくさん聞いて自分の中でプラスになった。どの国で生きるにせよ、自分の中の誇りと相手への尊敬は大切だとわかった。

相手のことを知りたいという姿勢により信頼関係を築くことが大切であり、相手に興味を持てば異なる文化を持つ相手でもわかり合えるという考えを持った。

国際協力活動を行う際には、現地の人々とお互い対等に、人間同士の付き合いをし、その上で発展を目指すことが大切だとわかった。



グループでの意見交換の成果を発表する様子